

ふくしの宅配便

～この広報紙は赤い羽根共同募金の配分を受けています～

～皆さんの心は一段と暖かかった～



10月28日(日)、大山ガーデンプレイスで『ふれあい祭り』が開催されました。チャリティ事業として毎年恒例の、“ふれあい汁”と“餅つき大会”に今年も参加させていただきました。

また、同ブースで行いました赤い羽根共同募金委員会(事務局)としての風船配布も子ども達に大人気でした。募金にご協力いただき本当にありがとうございました。

福祉地域座談会の報告	2
福祉委員研修会、災害ボランティアセンター運営支援派遣	3
こどもパル、フィットネス&スタジオパル	4
デイサービス	5
寄付者御芳名、実りの会会員募集	
実りの会、年末おせち配布、ふれあい祭りチャリティ、あとがき	6

- 本所 伯耆町大殿1010 (岸本保健福祉センター内) TEL 0859-68-4635 FAX 0859-68-4634
 [生活困窮者自立支援事業専用ダイヤル] TEL 0859-21-0608
 [フィットネス&スタジオパル] 直通 TEL 0859-68-4811
 小規模保育所こどもパル 伯耆町大殿1081-7 TEL/FAX 0859-39-8211
- 岸本支所・通所介護事業所・居宅介護支援事業所
 伯耆町大殿1030-1(岸本老人福祉センター内) TEL 0859-68-3781 FAX 0859-68-4588
 [通所介護事業所] 直通TEL 0859-68-3706 [居宅介護支援事業所] 直通TEL 0859-68-5200
- 溝口支所・通所介護事業所・訪問介護事業所
 伯耆町溝口281-2 (溝口福祉センター内) TEL 0859-63-0666 FAX 0859-63-0660

～福祉地域座談会の報告～

ふくしの宅配便9月号で今年度の福祉地域座談会の終了について掲載いたしました。今回は、福祉地域座談会の実施内容について紹介したいと思います。伯耆町社会福祉協議会が行う福祉地域座談会は、民生児童委員と社協理事・職員が集落に出向き、伯耆町社協がどのような事業をしているのかを伝える場として、またその集落の実情を知り皆さんからのご意見を伺う場として、3年間かけて全集落を回らせてもらう事業です。今年度は新たな内容となった座談会の初年度でした。

(28ヶ所で開催、267名の住民の皆様にご参加いただきました。)

○福祉地域座談会の流れ

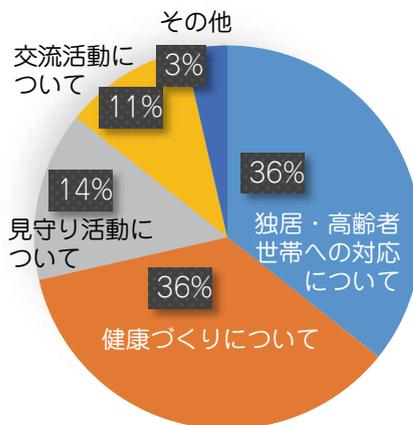
- (1) 社協事業紹介 (DVD視聴)
- (2) 支え愛マップ 作りについて (説明)
- (3) 各集落が選んだテーマに沿った意見交換会
意見交換会のテーマ
 - ①見守り活動について
 - ②独居・高齢者世帯への対応について
 - ③交流活動について ④健康づくりについて
 - ⑤上記以外の集落が希望するテーマについて
- (4) 質疑

マップ作成の様子



吉定集落 (吉定地区マップ作りの様子)

28集落が選んだテーマ



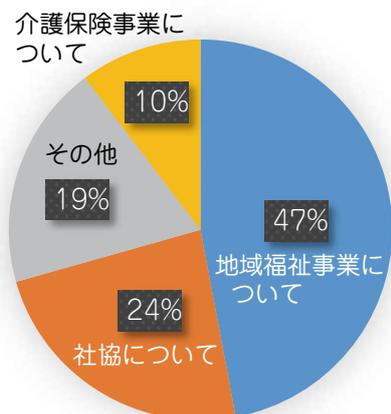
○テーマについて

集落が選んだテーマの約7割を「独居・高齢者世帯への対応」と「健康づくり」が占めましたが、どのテーマを選んでも意見交換会の中で近年の自然災害の多さから「災害について」の話が出る集落が多くみられました。今回の座談会では、災害がよその出来事ではない身近に起こりうることとして捉えられていることから、マップ作りの説明を聞き「自分たちの集落でも取り組んでみよう!」とマップ作りにつながった集落が3集落あります。

○質問について

地域福祉事業についての質問では「配食サービスに関すること」や「赤い羽根共同募金に関すること」、「車イス・緊急通報用電話に関すること」などが多く出ました。昨年までは、質問の大半を介護保険事業に関するものが占めていましたが、今年は座談会の内容の違いからかこのような結果になりました。また、その他の質問のほとんどが昨年4月にオープンしたフィットネス&スタジオパルに関するもので、健康づくりに対する皆さんの関心の高さがうかがえました。

座談会で出た質問の内訳



～皆様より頂いたご意見を社協事業に反映できるよう努めてまいります～

平成30年度福祉委員研修会

地域の福祉力アップ!

10月24日(水)、各集落から43名の福祉委員さんの参加をいただき研修会を開催しました。

福祉委員は、地域において区長さん、民生委員さん等と協力し合い、住民の福祉課題や困りごとに対して、見守り活動や声掛け、ふれあいサロンなどの活動を通し、早期発見、対応に結び付けるいわば地域のアンテナ役として、また地域と社協や福祉の関係機関を結ぶ情報のパイプ役として、日々活動していただいています。

この度の研修会では、テーマを「5年後、10年後の地域と自分を考える」と題し、将来を見据えた地域での見守り活動について、社協職員による講話や福祉委員同士で意見交換を行いました。当初は「5年後は想像がつくが、10年後はわからない。」「将来不安だらけだ。」等の声が聞かれましたが、会が進むにつれ、「現状を維持するためにはまずは健康であること。」「弱った時でも地域に支えてくれる受け皿があれば生活できる。」といった前向きな発言が多く聞かれ、これからの地域福祉活動にとって、とても有意義な会となりました。

また、研修の最後には、社協職員による脳活性化プログラム「シナプソロジー」を体験し、認知機能の向上に効果的な体操やゲームにも挑戦しました。



西日本豪雨災害ボランティアセンター運営支援派遣

～社会福祉協議会が災害ボランティアセンターで果たす役割～

岸本支所 井上 喜美代

7月に発生した西日本豪雨災害では、各被災地に災害ボランティアセンターが設置され、全国から大勢のボランティアが活動に来られています。私たち社協の職員は、ボランティア活動そのものではなく、ボランティアの方の活動が円滑に進むようにボランティアセンターの運営のお手伝い役として協力することになっています。

私自身は、中国ブロック(鳥取県・島根県内社会福祉協議会)からの派遣スタッフとして支援に携わりましたが、他にも岡山県内の社会福祉協議会からはもちろん、近畿ブロックや東北ブロックからも支援に入られていました。このように、災害が発生し被災地支援の一助としてボランティア活動を行うときには、被災地の社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置して運営を行い、他の社会福祉協議会が支援に入る協力体制を整えています。

社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置して運営を担うようになってきた理由は、社会福祉協議会が日頃から住民主体で地域の抱える生活課題解決の取り組みをしていること。また、行政や関係機関、ボランティア団体とも連携を図って地域福祉の推進に努めている地域に根ざした組織であるからです。そうした日頃のネットワークを活かしながら、被災者とボランティアや民間の支援を有効につないでいくことで、被災者の生活支援を行い、災害からの復興を進めていきます。

広範囲で洪水被害のあった岡山県倉敷市に設置された災害ボランティアセンターの運営支援にも、9月、10月のそれぞれ3日間、1名ずつの本会職員が携わりました。運営支援を終えるときに、地元の方の「たいへんな被害にあったけど、みなさんの支援を受けて上を向いて少しずつ前に進んでいる、ということを感じたら伝えてほしい」という声を耳にしました。ボランティア活動とそれを支えるボランティアセンターが被災者の方の力になっていると感じました。

☆西日本豪雨災害における本会職員派遣先

広島県三原市(2名)、広島県広島市(1名)、
広島県東広島市(3名)、岡山県倉敷市(2名)



倉敷市災害ボランティアセンター：その かわ べ 園・川辺サテライト

小規模保育事業所 こどもパル

みんな一生懸命がんばりました

10月5日(金)、こどもパルでは「運動会ごっこ&遠足」を行いました。秋晴れの日、バスに乗ってレッツゴー! B&G 総合スポーツ公園で、運動会ごっこはスタートしました。最初に、お父さんやお母さんたちと一緒にダンスをしました。かわいいダンサーたちは音楽に合わせて楽しく踊りました。

ダンスの後は、真剣な眼差しで、「よーい、どん!」。途中で立ち止まったり、よそ見をしてなかなかすんなりゴールに向かえないお子さんもいましたが、一生懸命ゴールに向かって走っていくことができました。いっぱい体を動かした後は、芝の上にシートを敷いておいしいお弁当。穏やかな日差しの中、たくさんの笑顔を見ることができた1日になりました。



フィットネス&スタジオパル からの

おしらせ

○新マシン導入!!

この度、新たに「アブドミナルクランチ」というマシンを導入しました。これは座った状態で腹筋を集中的に鍛えるマシンです。従来の横になって起き上がる腹筋トレーニングよりも負担感が少なく、安全性も高いので幅広い世代の方にご使用いただけます。



○ハンモック設置

パル広場にハンモックを設置しました。天気の良い日にここでする昼寝は気持ちが良いですよ〜♪パル広場は誰でもご自由に利用いただけますので、ぜひご活用ください。

【お得なキャンペーンも行っています】

11月30日(金)まで **“ダブルゼロ”** キャンペーン実施中!!

入会金 ¥3,240 → ¥0

入会するなら今がチャンスです!

事務手数料 ¥3,240 → ¥0

体を動かして気持ちのいい汗を流しましょう!

※その他、入会手続きに関することは電話またはホームページでご確認ください。

TEL 68-4811 ホームページ <https://pal-plus-on.com/>

安心
安全
笑顔の

岸本デイサービスセンター

敬意と感謝の気持ちを込めて

9月26日(水)から28日(金)の3日間に敬老会を開催しました。今年はデイサービス25周年でもあり、盛大に行いました。昼食では赤飯や鯛飯でのおもてなし、お昼からは1日2組の地域のボランティア出演をお願いし、歌や演劇を披露していただきました。利用者様や職員、ボランティアの方々と一体となって会場が盛り上がることができました。最後に全員で「高原列車はいくよ」を歌って職員より利用者様に感謝の気持ちを伝えさせていただきました。

御出演していただいた方たちの紹介
・唐仁原俊博
・貴寿美学園
・伯耆みらい
・こしき昔乙女合唱団
・大寺コスモス会
・溝口傘踊り同好会
(順不同、敬称略)



溝口デイサービスセンター

秋色の花回廊を満喫しました。

今年も10月18日(木)から10月25日(木)まで日曜日以外の7日間『とっとり花回廊』に秋の屋外活動に出かけました。

この時期の花回廊のメインフラワーであるサルビアやコスモスなど見ごたえ十分で、季節を感じながらの散策となりました。皆さん普段なかなかできない活動に笑顔が溢れ、とても喜んでおられました。

この度の屋外活動も、多くのご家族の皆様、地域ボランティアの皆様には、園内散策から買い物まで、利用者様お一人お一人にあたたかく寄り添っていただきました。大変お世話になりありがとうございました。

《ボランティア協力団体(順不同、敬称略)》

- ・JA鳥取西部女性助け合い組織「かざぐるまの会」
- ・日光女性会
- ・二部地区活性化推進機構
- ・日赤奉仕団
- ・日光地区協議会
- ・伯耆町社協ボランティア(OB含む)



ご寄付ありがとうございました

平成30年9月1日～平成30年10月31日

畑	舟	川	橋	圓	長	濱	影	森	三	田	井	下	三	本	森	入	松	吉	泉
越	上	谷		山	谷	田	山	谷	上	村	上	村	宅	庄	田	澤	原	川	
嘉	篠	茂		美	貞	廣	貴	信	義	雄	秀	幸	幸	真	ゆ	正	晃	幸	
夫	夫	靖	則	満	男	弘	美	志	一	一	志	一	親	雄	郎	かり	人	太	雄
様	様	様	様	子	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
(福	(福	(福	(宮	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
居)	居)	居)	原)	(宮	(坂	(溝	(船	(古	(二	(溝	(根	(真	(押	(添	(莊	(長	(白	(二	(駅
				原	長	口	越	市	部	口	雨	野	口	谷	山	水	部	前	

一般寄付として
(もち米)

香典返しとして

実りの会 会員を募集しています！

○実りの会とは

実りの会は、町内にお住いの独居高齢者（65歳以上）を対象に実施している事業です。

内容は、町外へ年6回程度研修や各種体験、買い物等へ出かけて頂いています。

○社協会費を利用させて頂いています

実りの会は、町内の皆さまから頂いた社協会費を、主たる財源として運営しています。

○会員になるには

新規会員になりたい方、本事業に興味のある方は、下記までご連絡下さい。

TEL 68-4635 (実りの会担当 佐藤)

ありがとうございました

森と清流の里ふれあい祭り実行委員会様より、ふれあい祭りでのチャリティーの収益金 62,929 円を歳末たすけあい募金としてご寄付頂きました。この寄付は年末に独居高齢者の方等へ、おせちとお餅を配布する財源として活用させて頂きます。



おせち料理、お餅配布のご案内

町民の皆様からご協力いただいた歳末募金で、年末に独居高齢者等の皆様におせち料理をお届けします。対象となる方には直接案内を送付いたします。



あ と が き

毎年開催している『ふくしの集い』は、台風24号の接近により中止となりました。

近年、全国各地で起こる大規模災害をふまえ、今年度は講演会のほかに防災グッズ展示コーナーを設け、災害時に必要な用具を展示し実際に使ってみていただく予定でした。その中の防災備蓄品や避難所で使用するダンボールベッド・毛布・簡易トイレなどもテレビなどでは目にする機会がありますが、実際には被災した地域の方にしかその使い方・不自由さなどはわかりません。伯耆町社協職員でも3ページに掲載した『災害ボランティアセンター』で他県の被災現地に出向き経験した事を、ふくしの集いをはじめ本広報誌等により情報発信をしていきたいと思っております。

最後に、最近めっきりと肌寒くなってきました。体調管理には十分気をつけていきましょう！